

事 務 連 絡
平成26年5月9日

各都道府県建設業協会 御中

一般社団法人 全国建設業協会
事業部

建設副産物リサイクル広報推進会議機関誌
「建設リサイクル」のご案内について

時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は本会の活動に対しまして格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、建設副産物リサイクル広報推進会議より標記機関誌購読のご案内がありました。当機関誌では、発注者、施工者、処理業者など、建設リサイクルに携わる方々のために建設リサイクルを取り巻く法制度の動向、新たな技術開発等を、学会・行政・建設産業界の第一線で活躍中の実務者が、わかりやすく紹介しております。

ご参考までに、パンフレットを送付させていただきますので、ご購入希望の方は、裏面の注文書よりお申し込みください。

以上
(担当：事業部 吉田)

平成 26 年 4 月 25 日

会員団体 各位

建設副産物リサイクル広報推進会議
会 長 北 橋 建 治

機関誌「建設リサイクル」購読のお願い

謹啓

時下、ますます御清栄のこととお慶び申し上げます。

会員各位におかれましては、平素より建設副産物リサイクル広報推進会議の諸活動に御支援、御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて当広報推進会議は、建設副産物リサイクルの推進に関する広報活動を、構成機関が連携して計画的かつ効率的に実施することを目的に、平成 4 年に設立されました。

以来、当広報推進会議は 20 余年にわたって、毎年開催する総会の承認を得て各年の事業計画を定め、機関誌「建設リサイクル」（季刊）の企画・編集を含む諸活動を行ってまいりました。

国土交通省が策定する建設リサイクル推進計画におきましては、「関係者の連携強化」や「理解と参画の推進」を大きな柱としており、機関誌「建設リサイクル」の定期刊行は、建設リサイクル推進の重要な役割を担っております。

このため当広報推進会議におきましても、発注者、施工者、処理業者などの建設リサイクルの実務に携わる全ての方々に役に立つ行政情報や事例の紹介など、本年度もますますの紙面の充実を図っていくこととしています。

つきましては、建設副産物リサイクル広報推進会議の会員の皆様方に、御購読の申し込みについて御案内いたしますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

謹白

建設副産物対策の総合情報誌 建設リサイクル



「資源循環型社会」の構築に向けて
実務者に役立つ情報を提供!

編著

企画・編集：建設副産物リサイクル広報推進会議
発行：株式会社 大成出版社

本書は、発注者、施工者、処理業者など、建設リサイクルに携わる全ての方々のために建設リサイクルを取りまく法制度の動向、新たな技術開発等を、学会・行政・建設産業界の第一線で活躍中の実務者が、より分かりやすく紹介いたします。

目次

特集記事

ニュース・フォーカス

クローズ・アップ

テクノロジー・トゥデイ

建設リサイクルの現場レポート

ほっとひと息 おとなりさんのエコ

コンテンツ

●特集

リサイクルの動向や新制度、技術開発、支援措置等、時代の流れに合わせた内容を、各号ごとに重要なテーマとして取り上げ、様々な視点から特集します。

●ニュース・フォーカス

最新のニュース・実務者として知っていただきたい情報について詳しく掘り下げてお伝えします。

●テクノロジー・トゥデイ

研究開発の最前線からその動向、3R技術についてをお伝えします。またリサイクルの工法としてリサイクル資材、その特徴等を一つ一つ丁寧に紹介します。

●建設リサイクルの現場レポート

大規模な現場から都心の狭い現場まで。現場ならではの工夫・苦労した出来事について参考となるレポートを紹介します。

●ほっとひと息 おとなりさんのエコ

他の産業の取り組みを取り上げ、建設分野・建設産業以外の3Rの取り組みを報告します。

●内容は予告なく変更する場合があります

季刊 年4回(春、夏、秋、冬)発行 A4判・約56頁・定期年間購読料 定価 5,528 円(送料込)

詳しくは裏面をご覧ください

コンテンツの紹介

特集

自然由来の重金属を含む 建設発生土の処理と対策 ——仙台市地下鉄東西線——

吉川 正行
仙台市交通局東西線建設本部建設部副部長 主幹兼係長
水戸 光昭
仙台市交通局東西線建設本部建設部副部長 技師

キーワード 重金属の処理利用、建設発生土、放射性の汚染、リスクコミュニケーション、モニタリングによる監視

特集

岩手県山田町における 災害廃棄物処理と 再利用について

森本 克秀
(株)山田町日本支社環境課副課長
岡崎 健
(株)山田町日本支社東北支店山田町工事所係
大塚 義一
(株)山田町日本支社東北支店山田町プロジェクト係

キーワード 災害廃棄物、分別処理、復興資材、再生コンクリート、リ・バースコンクリート、実証実験、リサイクル



絶滅危惧種クロツラヘラサギの 保全に配慮した 新幹線橋りょうの新設 ——九州新幹線 氷川橋りょう——

竹津 英二
(株)鉄道・建設機械 九州新幹線建設局 次長

キーワード 絶滅危惧種、丹波島環境

九州新幹線 氷川橋りょうの概要

九州新幹線新設ルートは、福岡市から熊本県を貫通して鹿児島市に至る延長約257kmの路線で2014年3月に全線開業しました(図-1)。

氷川橋りょうは、熊本県八代市八代町と八代市山崎町を結ぶ二線単行線(2線)に架かる延長約400mの5径間4橋りょうです(図表-1)。

橋りょう工事は、2003年12月に着工し2004年5月から2008年9月までの約4年10ヶ月を経て2008年12月に完成しました。



2 氷川橋りょうの周辺状況

工事に先立ち実施した環境調査



44

テクノロジー・トゥデイ

ニュース・フォーカス(1)

電子マニフェスト普及拡大に 向けたロードマップの 策定について

環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部産業廃棄物課

キーワード 電子マニフェスト、普及率50%以上、ロードマップ、加入促進、利便性向上

1 産業廃棄物管理票 (マニフェスト)制度について

産業廃棄物管理票(マニフェスト)制度は、産業廃棄物の排出事業者が、収集運搬業者、処分業者に委託した廃棄物の処理の流れを自ら把握し、不法投棄の防止を図ることを目的として導入された制度です。

排出事業者は、マニフェストに



特集

震災廃棄物有効利用への取り組み および復旧現場の処理状況

講演録

震災廃棄物処理による 発生土、副産物の 有効利用の取り組み

尾関 基樹
東京瓦斯と産業副産物のアロケーション推進センター副センター長 東京大学 教授

キーワード 震災廃棄物処理、復興資材利用、発生土、副産物、有効利用

講演録

ご注文
お問合せ

建設副産物リサイクル広報推進会議(事務局:(一財)先端建設技術センター)

TEL.03-3942-3991 FAX.03-3942-0424 URL:http://www.suishinkaigi.jp/

株式会社大成出版社 営業管理部

TEL.03-3321-4131 FAX.03-3325-1888 URL:http://www.taisei-shuppan.co.jp/

FAX.03-3325-1888 (株)大成出版社 行

注文 年 月 日

図書コード	書名	定期年間購読	定価(税込)	数量
9998	建設リサイクル	定期年間購読	定価 5,528 円(送料込)	
		単号	定価 1,296 円(送料別) (本体 1,200 円)	

※単号でご注文の場合、実費送料を別途(1冊300円程度)頂戴します。

所在地 〒 -

フリガナ

団体・会社名

部課名

担当者名

TEL

FAX

E-mail

購読区分

公用 ・ 私有

※ご記入いただいたお客様の個人情報は、ご注文いただいた書籍の配送、ご請求等の連絡およびダイレクトメールのお届け等の弊社の営業活動に限り利用し、その目的以外での利用はいたしません。